

表の方々にご寄稿を頂き、その設立経緯や活動の状況、さらには、今後の支部活動の活性化に向けた課題などについてご紹介しています。

また、投稿論文等では1件の研究ノートの掲載となりました。

ぜひ、ご覧下さい。

(学術誌委員長 北村寿宏)

【学術誌委員会からのお願い】

「産学連携学」は、特集記事と投稿論文等から成り立っています。

特集記事につきましては、学術誌委員会で検討を行い、その時々的重要と思われるテーマを設定し、そのテーマに造詣の深い専門家の方に寄稿をお願いして、掲載されています。会員の皆様で、取り上げて欲しいテーマがありましたら、ぜひ、学術誌委員会にご提案ください。

投稿論文等は、論文、研究ノート、事例研究などの区分に分かれています。皆様からの投稿を受け、論文、研究ノート、事例研究については、査読がなされその結果に基づき委員会で審議され、掲載されています。

最近、この論文等の投稿が極端に少なくなってきました。学会誌は、会員の皆様の研究成果などを発表する場として、また、有用な情報を受け取る貴重な場となっています。ぜひ、皆様の研究成果や活動の取り組み事例を論文等にまとめて頂き、投稿くださるようお願い申し上げます。

皆様からの投稿をお待ちしております。

(学術誌委員長 北村寿宏)

当メールニュースではイベントのお知らせや公募情報等、
産学連携に関する情報をお流しいたします。
会員の皆様への情報の配信をご希望の方は、
産学連携学会事務局（j-sangaku@j-sip.org）までご連絡ください。
バックナンバー：http://www.j-sip.org/mail_news.php